

高橋健二 たかはしけんじ 政論家、官僚。安政二年九月江戸生れ、明治二十一年七月二十一日歿（八十五歳）。號吟淵生、小陶屋、洞洞子、素繪坊主人、自得居士、自得庵。書家高橋行齋の四男。大學南校の學び、官吏となる。明治二十一年内閣官報局長、二十九年内閣書記官長。この間新聞「日本」、美術誌「國華」創刊の關與。また雜誌「二十世紀」を發刊、筆禍を遭ふ。進徳集「自得言行録」（明治二十一年八月十一日川那邊貞大郎編輯）、野村浩一良著「米寿閑話——政論の自由と」二十世紀「事件」（昭和二十八年十一月私家版）がある。

譯書「情状證據誤判録」（明治十四年十一月司法省藏版、博愛社。再刊。十五年十月大阪・河合眞七出版）等。